

白浜町 議会だより

No.32

平成26年(2014)5月

発行 白浜町議会

編集 議会広報特別委員会



さくらまつりフェアで踊るキッズダンサー（平草原公園）

CONTENTS

- | | |
|---------------------|---------|
| ■ 新議会の構成 | P. 2～3 |
| ■ 平成26年第1回定例会等 | P. 4～5 |
| ■ 一般質問（平成26年第1回定例会） | P. 6～12 |
| ■ 傍聴へ行こう！ | P. 13 |
| ■ 町議会・町議会議長の主な動き | P. 14 |

議長に岡谷裕計議員
副議長に溝口耕太郎議員

おかたにひろかず
みぞぐちこうたろう



岡谷裕計 議長



溝口耕太郎 副議長

3月16日に執行された白浜町議会議員選挙後の初議会（臨時議会）を、4月3日、4日に開催しました。この臨時議会は、議案審議のほかに内部構成を行うために開会したもので、正・副議長の選挙を行い、議長に岡谷裕計氏、副議長に溝口耕太郎氏を選出したほか、常任委員会等の構成を決定しました。

就任のご挨拶 白浜町議会議長 岡谷 裕計

今般、白浜町議会議長の重職に就任いたしました。地方分権から地域主権へと、地方議会の果たす役割は、ますます重要になってまいります。今後とも、地方自治の進展と住民福祉の向上に、更なる努力を傾注する覚悟です。

住民の皆さま方の一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

【各委員会構成等】

◎委員長 ○副委員長

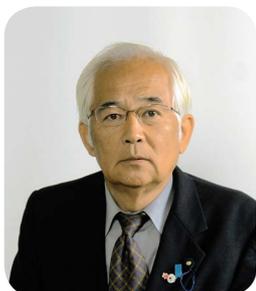
常任委員会	総務文教厚生	◎三倉 ○古久保 岡谷 水上 楠本 南 丸本
	観光建設農林	◎長野 ○堀 溝口 辻 西尾 廣畑 玉置
議会運営委員会		◎西尾 ○南 溝口 三倉 長野 楠本
議会広報特別委員会		◎辻 ○古久保 堀 水上 楠本 廣畑
一部事務組合	公立紀南病院組合議員	岡谷 溝口
	田辺周辺広域市町村圏組合議員	岡谷 溝口
	紀南環境広域施設組合議員	岡谷 溝口
	富田川衛生施設組合議員	岡谷 溝口 水上 丸本
	大辺路衛生施設組合議員	岡谷 溝口 三倉
	富田川治水組合議員	溝口 楠本 廣畑 南
	紀南地方老人福祉施設組合議員	岡谷
	紀南地方児童福祉施設組合議員	岡谷
各種委員	後期高齢者医療広域連合議員	岡谷
	富田共有財産組合委員	岡谷
	都市計画審議会委員	三倉 長野
	入学就学奨励金審査委員会委員	三倉

※今回の委員会構成より、機能のあり方を総合的に勘案し、定数等の変更を行いました。

白浜町議会議員



議席番号1
みぞぐち こうたろう
溝口 耕太郎 (54)
無所属 (保呂)



議席番号2
みくら けんじ
三倉 健嗣 (65)
無所属 (日置)



議席番号3
つじ せいき
辻 成紀 (56)
無所属 (安宅)



議席番号4
おかたに ひろかず
岡谷 裕計 (65)
公明党 (堅田)



議席番号5
ほり たくみ
堀 匠 (55)
無所属 (白浜)



議席番号6
ながの そういち
長野 莊一 (60)
無所属 (椿)



議席番号7
みずかみ くみこ
水上 久美子 (62)
無所属 (白浜)



議席番号8
くすもと たかのり
楠本 隆典 (71)
無所属 (椿)



議席番号9
にしお ともあき
西尾 智朗 (62)
無所属 (日置)



議席番号10
ひろはた としお
廣畑 敏雄 (60)
日本共産党 (中)



議席番号11
ふるくぼ けいぞう
古久保 恵三 (71)
無所属 (白浜)



議席番号12
みなみ かつや
南 勝弥 (69)
無所属 (白浜)



議席番号13
たまき はじむ
玉置 一 (61)
無所属 (堅田)



議席番号14
まるもと やすたか
丸本 安高 (61)
日本共産党 (市鹿野)

- 議員任期
平成26年3月26日～平成30年3月25日
- 議員定数
14人

(年齢は4月1日現在です。)

平成26年度当初予算を 全会一致で可決

白浜町議会平成26年第1回（2月）定例会は、2月6日招集、19日間の会期で開催しました。

当局から提案された案件は、条例改正7件、一般会計、特別会計補正予算3件、平成25年度当初予算12件、報告3件、諮問3件、その他の案件6件、また、議会提出案件は2件でした。

平成26年度当初予算については、予算審査特別委員会の審査結果報告を受けた後に採決した結果、一般会計、特別会計とも、全会一致で可決しました。

また、その他の案件についてもすべて可決承認しました。

定例会2日目から3日目には一般質問が行われ、7議員が登壇し、町長及び教育長に質問をしました。

□ 条例改正等

○白浜町課設置に関する条例及び白浜町事務所及び出張所の設置に関する条例の一部を改正する条例

課等の組織の改編に伴う条例の一部改正

○漁港漁場整備法第39条の5の規定による土砂採取料等の徴収に関する条例の一部を改正する条例

平成26年4月からの消費税率の引き上げに伴う土砂採取料に関する関係規定の改正

○白浜町社会教育委員に関する条例の一部を改正する条例
社会教育法の一部改正に伴う関係規定の改正

○白浜町手数料徴収条例の一部を改正する条例

地方公共団体の手数料の標準に関する政令の一部改正に伴う手数料の改正

○白浜町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例

非常勤消防団員等にかかる損害賠償の基準を定める政令の一部改正に伴う関係規定の改正

○白浜町消防長及び消防署長の資格を定める条例の制定

消防組織法の一部改正に伴う白浜町消防長及び消防署長の資格を定める条例の制定

○白浜町債権管理条例の制定

町の債権の管理を適正に行うため、その管理に関する事務処理について必要な事項を定める条例の制定

□ 補正予算

○平成25年度白浜町一般会計補正予算（第8号）

既定の歳入歳出予算の総額に5千521万6千円を追加し、歳入歳出予算総額を134億6千848万6千円
主な補正内容は次のとおりです。
（単位 万円未満四捨五入）

【総務費】

・減債基金積立金

1億円

・地籍調査業務報償費

△240万円

・ふるさと白浜応援基金積立金

250万円

・標準宅地鑑定手数料

△896万円

【民生費】

・児童手当

2千万円

【衛生費】

・公立紀南病院組合負担金

△453万円

・簡易水道特別会計操出金

126万円

【農林水産業費】

・施設指定管理委託料

△432万円

・漁港機能強化計画作成委託料

△900万円

【土木費】

・下水道事業特別会計操出金

150万円

【教育費】

・大辺路富田坂保存修理工事費

132万円

○平成25年度白浜町簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)

既定の歳入歳出予算の総額に126万円を追加し、歳入歳出予算総額を4千394万7千円

○平成25年度白浜町下水道事業特別会計補正予算(第3号)

既定の歳入歳出予算の総額に150万円を追加し、歳入歳出予算総額を8億6千860万9千円

□工事請負契約の一部変更について

○白浜会館改修工事にかかる契約の一部変更

工事量の変更による契約金額の増額

【契約金額】

1千793万850円を増額し、2億325万5千850円

【変更理由】

・アリーナ部分の既設床の全面に床材を上貼りする工法に変更
・舞台緞帳とカスミ幕が腐食のため取り替え

・案内看板の設置の追加
・その他補修工事、資材の変更

等に伴う工事費の増減

□人権擁護委員の推薦について

次の方を適任としました。

(敬称略)

- ・植田 泰子(玉伝)
- ・玉置 悦子(安居)
- ・小山 よし子(日置)

平成26年第1回臨時会

白浜町議会平成26年第1回

(4月)臨時会は、4月3日招集、

2日間の会期で開催しました。

新しい議会の内部構成を決定したほかに、当局から提案された案件は、専決処分6件、補正予算1件、その他の議案5件、また、議会提出案件は7件で、それらすべてについて可決承認しました。

□補正予算

○平成26年度白浜町一般会計補正予算(第1号)

既定の歳入歳出予算の総額に1億4千596万1千円を追加し、歳入歳出予算総額を

119億1千596万1千円
主な補正内容は次のとおりです。
(単位 万円未満四捨五入)

【民生費】

・臨時福祉給付金事業費

1億2千329万円

・子育て世帯臨時特例給付金事業費

2千363万円

□白浜町監査委員の選任について

次の方を同意しました。

(敬称略)

・津多 勝(白浜)

□白浜町教育委員会委員の任命について

次の方を同意しました。
(敬称略)

・二杉 茂(堅田)

・辻 慶太(十九淵)

□富田共有財産組合委員の選任について

次の方を同意しました。
(敬称略)

・岡谷 裕計(堅田)

・古守 元一(富田)



ひろはた としお 議員
廣畑 敏雄
(一問一答)

・ 準都市計画区域等の指定について
・ 米軍オスプレイの県防災訓練
への参加について



(準都市計画区域になる予定の富田平野)

ることが必要ではないか。

答 地域の住民からの苦情や主張等があれば、県と協議し、解決策を見いだしてい

いき、今後、平成26年度末を目標として、もう少し時間をかけて住民説明会や広報による住民周知を徹底し、住民の理解が得られるよう取り組みたい。

問 建築基準法の「集団規定」が適用され、道路に関するルールもあり、規定に従った敷地でなければなら

ない。この規定の緩和措置はないのか。また、この地域には幅員1・8メートル以下の道路が多いが、この場合はどうなるのか。

答 建築申請ごとに許可者の建築主事、県と協議することとなるため、緩和措置は期待できない。そのこと

について各地域から意見を伺っており、対応策として

町道の新設改良も、今後、検討しなければならぬ課題であると考えている。

問 米軍オスプレイの県防災訓練の参加については、県知事が防衛大臣の打診を受けて、受け入れを了承したが、安全第一の防災訓練に安全性が確立できていないオスプレイの参加については、観光地白浜空港の利用もあると思うが、安全第一から反対してはどうか。

答 現在のところ、国や県から防災訓練に関する情報や具体的な説明がきていないため、答弁は差し控えるが、今後、国や県の動向を注視しながら慎重に対応していきたい。

問 準都市計画区域等の指定については、富田、南白浜、北富田の3地区で住民説明会を開催したが、参加者から出された意見はどのようなものであったか。また、メリット・デメリットはどうか。

答 住環境を保全するのは望ましいが、確認申請やセツ

トバック等による住民への負担が金銭面も含めて大きいとの意見があり、デメリットとして建築基準法の集団規定による負担があるが、安全で住みやすいまちづくりには指定が必要である。

問 準都市計画区域等の指定については、拙速な取り組みではなく、十分理解を深め



まさき ひでお
正木 秀男 議員
(一問一答)

- ・ 環境問題
- ・ 乳幼児問題
- ・ 学校交流問題



問 ゴミ袋のサイズについて、老人の単独世帯が増えており、その生活のなかで老人にとって大きなゴミ袋は時間と体力が負担になっている。多様なサイズが必要と考えるがいかがか。

答 家庭用のゴミ袋は、大と小、それに容量約20リットルの特小の3種類がある。現在、特小は旧日置川町地域で販売しているが、過去2年間、町からの販売



実績がない状況である。

問 経済産業省と環境省が地中熱エネルギーについて多額の予算をつけている。当町の公共施設の冷暖房等にも地中熱エネルギーを利用したらどうかと考えるがいかがか。

答 地中熱エネルギーは、天候や地域に左右されず安定的に利用でき、地球温暖化防止対策にも効果的であ

るため、今後の普及が期待されている自然エネルギーであると認識している。

北海道や東北地方で多く導入されており、今後、国の補助制度を精査し、当町における地中熱の活用について、調査、研究していきたい。

問 当町には乳幼児健診を受けず、所在が確認できない児童、幼児は何人いるか。

また、世間では虐待死の事案が多数発生しており、自治体で一步踏み込んで幼児の安全を図っていく体制を作るべきと考えるがいかがか。

答 3歳6カ月児健診未受診児が2名いるが、所在確認は取れている。

乳幼児健診を受けず、居住実態も把握できない家庭は虐待発生のリスクが高いため、その危険性を未然に防ぐためにも健診だけでなく、妊娠期から新生児、乳

幼児期の月齢に応じて、保健師等が電話や窓口で個別の育児相談等に応じ、また、家庭訪問も行っている。

問 年々、日置川地域において体験学習旅行が増えていると聞く。ホームステイも含めて地元の人たちとの体験による交流が大事であり、都会の学校で教育を受けた子どもとの交流により当町の子どもの感性が豊かになると考えるがいかがか。

答 交流については、全国的に行われているところもあり、たいへん大事だと認識しているが、学校は前年度に年間基本計画をつくり、それに基づいて学習や行事が行われている。今後、前向きに検討すべき課題であると考えている。



丸本 安高 議員
（一問一答）

・公共交通について ・はまゆう病院の給食業者選定について

問 バス事業者が昨年末に来庁し、今年の10月からバス路線の再編についての申し出があり、JR日置駅から上は廃止になる。現在、再編については関係機関と協議中であると思うが、日置川流域は高齢化率も高く、廃止になれば日常生活に支障をきたす移動制約者が増加し、住み続けることができな。地域崩壊に拍車がかかる町の最重要課題と位置づけ、早急な対策をとる必要があるのではないか。

公共交通会議を設置し、そのなかで協議を進めて事業計画や代替交通手段等について最優先課題として、スピード感を持って検討したいと考えている。地域の皆さんにご不便、迷惑をかけるような対策を講じたい。

答 今回の路線バス再編計画に伴う交通不便地域の解消に向けた対策として、例えばコミュニティバス、デマンドタクシーを運行して生活交通の維持確保の取組みが全国各地でされている。全国のいろいろな取組みを参考にしながら、町や国、県の関係機関、事業所、住民、利用者、学識経験者の方が入った白浜町地域公

問 はまゆう病院の給食業者選定について、地方紙で入札が正常に行われたのか疑念を抱かせる報道があり、落札予定だった業者が田辺保健所職員と偽り、調理室を視察し、昨年8月26日には入札の仕様書と実施要項を決定し、発送したのにも関わらず、3日後に県内にと変更したとある。保健所の職員と偽り、また、入札の仕様書と要項の決裁後の変更は町民や選定からもれた業者に疑念を抱かせると。調査委員会で調査中とのことだが、結果を見た後、必要であれば入札をやり直すこともでてくるのではな

答 現在、はまゆう病院の内部調査の結果を、第三者を交えた「白浜はまゆう病院給食委託業者選考過程における不祥事に関する調査委員会」で検討し、関係者に対し、事実確認を行っているところである。その結果に基づき、職員の処分も含めた、必要な財団内での対策を講じていき、相手方にも調査結果を開示し、広く町民に対し、広報紙等で

必要な説明責任を果たしていきたい。
また、再度の病院給食委託業者の選考については、第三者を交えた調査委員会で最終的な報告が提出された段階で、総合的に検討したうえで、理事長として最終的に判断をする。



※このほか、丸本議員は職員の給与、賃金並びに林道将軍川線について質問しました。



まさき しろう 議員
(総 括)

・ 行政課題の取り組みと展望 ・ 高校生の通学体系と支援措置



(国体に備えて改修された「坂田会館」。
老朽化する公園全体の整備も望まれる)

問 行政の執行者はいつの時代においても、直面する行政課題だけでなく、町の発展を展望したなかで、長期的な「まちづくり」の構想を把握していかねければならない。今後、防災や福祉施策は当然のことだが、全体的な政策について、具体的なビジョンがあれば聞きたい。老朽化する坂田公園、旧空港跡地の活用や観光振興、教育面では、施設の統廃合や空調整備等、

ハード面だけでなく、いじめや不登校、アレルギー等、食生活に関連する子どもへの体質の虚弱化等の対応についてどう取り組まれるのか。

答 まちづくりについては、ビジョンを掲げ、将来を見据えた中長期的な展望を示す必要があると考えている。重要なのは優先順位で、まず防災、減災対策を優先して進めるべきであ

り、次に優先すべきは観光振興と第一次産業や商工業の活性化である。

いじめの未然防止、早期発見、対処、啓発に学校として組織的に対応を進めている。不登校については、専門家や行政機関等とのネットワークをつくり、家庭への支援も含めて改善に努めている。アレルギー克服は、基本的な生活習慣等の育成がもつとも大切であると保護者に働きかけ、学校でも研修を定期的に実施している。

問 今春、町内4中学校の生徒199人が卒業し、高校に進学する。現在、ほとんどの生徒は、電車やバス、自転車を利用して通学しているが、交通機関を利用する場合の行政としての乗車料金の補助施策や厳寒のなか、一生懸命にペダルを踏む自転車の遠距離通学の生徒たちに何らかの支援措置

が考えられないか。生徒たちの苦労を傍観せずに、行政としての温かい配慮が必要ではないか。

答 高校生の通学は、最寄りの駅まで自転車または学校の許可により単車で行き、電車通学がほとんどである。しかし、最寄りの駅までの距離やクラブ活動の時間帯、そして交通費やバスの利便性の問題等で自転車または親の送迎等で通学しているのが実情であり、通学費の助成になると、白浜町は地域の範囲が広く、また、高校生への助成の範囲、助成の対象等の整合性や現在、財政の厳しいなか、新規助成金は非常に難しいのが現状である。

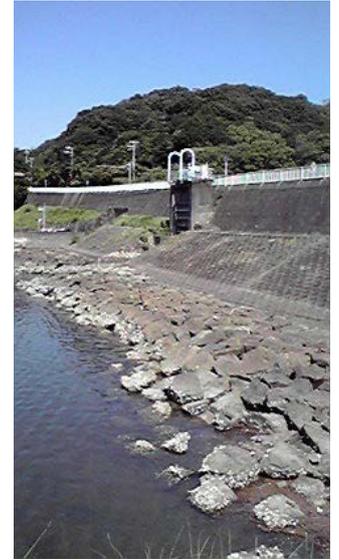
長い間、ありがとうございました。これをもちまして平成7年6月の初議会以来、19年間連続76回目の一般質問を終わります。



たまたま はじめ
玉置 一 議員
(一問一答)

・ 防災への取組み

・ 観光振興への取組み



(津波被害が予想される細野湾)

問 必ず来るといわれている東南海、南海連動地震に伴う津波から町民の生命と財産を守ることは町政の最重要課題である。津波については被災履歴があり、早い対応が可能だと考えるがいかがか。

答 南海トラフの巨大地震及び東海、東南海、南海3連動地震の津波浸水想定を踏まえ、県が「津波から「逃げ切る！」支援対策プログラム」の策定作業を行っている。このプログラムで設定された津波避難困難地域の解消にむけて、それぞれの地域の地理的条件に応じた対策を講じていくことに

なる。

問 津波を直接とめる大型堤防や防潮堤等の手段を講じるのが最良だと考えるが、時間がかかることから、まず避難場所の拡充が先決である。地域間の優先順位を付けず、一気に拡充できるように思い切った予算措置と災害に対応する職員の充実を図るべきと考えるがいかがか。

答 防災、減災を進めるうえで、必要な予算措置を行い、地域の安心、安全が守れるよう鋭意取り組んでいきたい。
また、職員の充実に

ては、今後、防災対策室を危機管理室と組織改編し、人員配置も含め、体制の強化を図っていく。

問 現在、白良浜では、観光協会だけが白良浜内で物品販売が許可されているが、運営に苦しむコスモスの郷等、福祉団体にも物品販売の機会を与えられるよう考えてはどうか。

答 白良浜は、過去の経過から、これまで公的な組織である観光協会以外には基本的に販売を認めないとしてきたが、趣旨は分かるので、当事者にその意向があるならば、関係者と相談

させていただきたい。

問 番所山公園整備事業が完成し、京都大学水産試験場のリニューアル、体験型旅行、教育旅行、スポーツ合宿等、白浜町が後押しし、全力で宣伝し、これらの分野での来泉客増を図るべきだと思いがいかがか。

答 集客、誘客を行っていただきたいと考えている。番所山周辺にある京都大学水族館や南方熊楠記念館等にも支援いただきながら、この地域の資源を生かして、もっといろいろお客様にアピールしていきたい。



(白良浜付近の温泉街)



みづかみ くみこ 議員
水上 久美子 (一問一答)

・ 道路や公共施設、ごみの管理について

・ 新庁舎と図書館建設への取り組み

問 消防屯所の改修や高台移転等、防災拠点整備への年次計画と県有地の活用、白浜支団内では高台移転で広域災害時の拠点が要る。進捗はいかがか。

答 町が作成するハザードマップにより、津波浸水状況や建物状況、場所等を考慮して関係課と協議しながら計画を立てていきたい。

問 悪路や道路陥没、側溝内の汚泥と雑草。県、町道沿いの雨水処理、浸水等の道路整備と側溝断面の入れ替えや雨水浸透枿の助成を提案するのいかがか。

答 道路整備や側溝の改修は、不良箇所から随時改修を実施し、安全性を確保できる取り組みを行っている。町の助成については今後の検討課題としたい。

問 ゴミステーションの距離や住民生活の現状に沿った調査と見直しが必要である。湯崎の坂道や町内の極小道路には小型車両の導入を過去に求めたことがあるが、ごみ出し困難者への検討はどうなったか。

答 過去に軽トラックでの収集を検討した経過はあるが、課題も多く実施に至っていない。ゴミステーションの位置の見直しについては、自治会と協議していきたい。

問 わかやま国体後の施設活用について、スポーツ合宿や観光施策の提案で全国発信し、活性化へつなげるべきと考えるのいかがか。

答 施設改修により自信を持ったアピールが可能となり、知名度も増したことによる利用増加も期待できるの
で、町内外にもっと情報発信していきたい。

問 中央公民館のエアコンの見直しと飲食の許可について伺う。

答 施設使用料は減免等、できる限り住民に負担がかからないように配慮しているが、冷暖房料は条例に基づいて負担をいただいている。飲食については、一度検討したい。

問 庁舎の耐震診断結果、強度や体力度はどうか。耐震補強工事は、それとも新庁舎建設か。

答 耐震診断では、倒壊または崩壊する危険が高いとの診断結果が出ている。庁内検討委員会からの報告を受けて現庁舎を耐震化するのか、新庁舎を建設するのか一定の判断をしたいと考えている。

問 図書館は第1次白浜町長期総合計画で老朽化、狭隘化で整備が求められ、早期建築を求める請願も議会採択され、図書館協議会でも図書館基本構想で提言されている。地域の特性をいかした付加価値を付けた図書館建設はどうか。

答 委員会としてはすぐにも建設をしたい意向は持っているが、町の財政をとらえた場合、非常に厳しい現状である。ほかの図書館で地域の特性をいかした良いところは、参考にしていきたいと考えている。



くすもと たかのり 議員
楠本 隆典 (総括)

・地域公共交通ネットワークの その後の取り組み

・大規模災害について

・庁舎の積立金について

問 昨年12月議会の質問に対する町の答弁は、生活交通ネットワーク再構等を喫緊の課題として策定計画推進委員会で協議して、方向性を出すと答弁されている。開催状況とその後取り組み状況、バス会社との交渉経緯、住民周知について問う。

答 策定委員会の任期終了後、生活交通ネットワーク計画推進委員会としての協議は、現在、開催できていない。町と県、国の関係機関、事業所、住民、利用者、学識経験者から構成される白浜町地域公共交通会議を設置し、事業計画についての結論を出したい。バス会社と通学時刻等の協議を進めている。地元説明会については、必要に応じて開催したいと考えている。

問 県の行政報告会における地震防災対策等について、南海トラフ巨大地震と3連

動地震との比較について、白浜町の津波ハザードマップ等の対応について問う。

答 県が示す指針と同じく、南海トラフの巨大地震については、より実践的な避難訓練等、避難対策を中心に取り組みを進め、東海、東南海、南海3連動地震については、従来どおりソフト、ハード両面の対策を講じていく。津波ハザードマップについては、新想定の内容をよりわかりやすく住民に伝え、避難について考える際の資料となるべく、作成に取り組んでいる。

問 避難の安全レベルが指定されているが、住民周知の徹底が課題でないのか。

答 県独自の取り組みである避難先の安全レベルの設定については、現在作成中の津波ハザードマップに、その説明及び初期避難場所

(高台等)の安全レベルを記載し、お示しできるように作業を行っている。なお、津波ハザードマップについては、住民への配布のほか、町ホームページに掲載する等、周知を図っていききたい。

問 耐震改修について、ホテル等の高層建築や住宅の国、県の補助メニューを踏まえ、県の説明を受け、きめ細かい取り組みはできているのか。

答 ホテル等の施設ごとにヒアリングを行っており、申請手続きが開始されている。住宅については、耐震診断、改修工事の補助を実施しており、今後もきめ細かい取り組みをしたい。

問 危機管理の業務範囲について、従来の防災対策室と防犯、交通を含むという点か。また、クレーム処理について問う。

答 危機管理の業務範囲は、防災減災対策に加え、感染症、武力攻撃等における保護措置等を図るものである。クレーム処理については、今後とも対応をしっかりと行っていきたい。

問 庁舎の積立金について、庁内検討委員会で1年かけて計画を出すとのことだったが、東海、東南海、南海3連動の地震対策等、司令塔としての庁舎の新ネットワークシステムの構築を含め、庁内検討委員会の取り組み状況を示してもらいたい。また、町長の決断が必要である。当局の見解を求める。

答 現在、庁内検討委員会において協議中である。今年度中には庁舎の耐震化または新築の方向性を出したいと考えている。積立について、中長期的に検討したい。

傍聴へ行こう！

傍聴について

傍聴は、議員の活動、町長の考えや町政の方針を知る最も身近な方法です。簡単な手続きでどなたでも傍聴できますので、ぜひ傍聴にお越しください。また、議案書がご希望の方がございましたら、議会事務局までお知らせください。



(傍聴人受付簿)

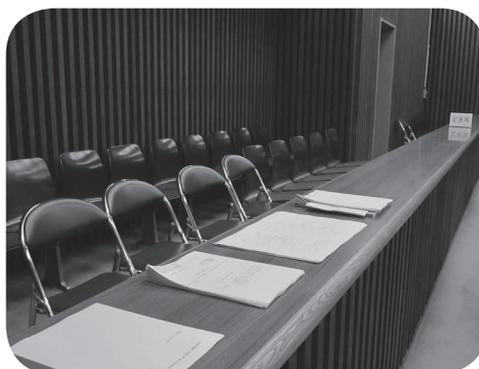
手続き

傍聴人受付簿に、住所、氏名をご記入いただき、傍聴席へお入り下さい。

傍聴席数を超える傍聴人数が予想される場合は、傍聴券を発行することがあります。

傍聴席

- 議場の傍聴席は、一般席20席、記者席5席です。
- 傍聴席には限りがありますので、先着順とさせていただきます。
- 傍聴席に空きがない場合は、議場隣の委員会室にて音声のみお聞きいただけます。
- 審議や他の傍聴者の妨げにならない範囲で、会議中の入場や途中退席をすることもできます。



(傍聴席)



(議場)

町議会・町議会議長の主な動き (1月1日～3月31日)

13日	12日	2月6日	30日	28日	27日	23日	20日	14日	10日	8日	8日	6日	5日	1月4日	
議員懇談会	第1回定例会(第3日)	第1回定例会(第1日) 全員協議会	議会運営委員会	公立紀南病院組合議会 協議会	公立紀南病院組合議会 協議会	県議定会政策審議会	公立紀南病院組合議会 議長会	全員協議会	議会広報特別委員会	県町村議会議長会臨時議長 会議	新年挨拶まわり (大阪・名古屋・東京)	視察 (東京)	交通安全年頭式	消防出初式	新年祝賀会
28日	26日	16日	3月11日	24日	21日	20日	19日	18日	17日	14日					
議員懇談会	新議員研修会	票日	白浜町議会議員一般選挙 告示	第1回定例会(第5日) 議会運営委員会	全員協議会	議員懇談会	紀南環境広域施設組合議会 定例会	予算審査特別委員会	富田川衛生施設組合議会定 例会	第1回定例会(第4日) 議会運営委員会	予算審査特別委員会	予算審査特別委員会	富田川衛生施設組合議会定 例会		

議会広報

特別委員会

青空に新緑が映える季節を迎え、鯉のぼりが5月の風に力強く泳いでいます。

夏の観光シーズンを控え、イベントも盛りだくさんとなり、観光客を迎える準備が着々と進められています。

さて、今回の議員選挙により、新しく議会広報特別委員会委員が構成されました。

この議会広報により、町民の皆さんに議員の活動等が幅広く周知できるよう、委員一同、誠心誠意取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。

また、ご意見等ございましたらお寄せいただければと思います。

委員長 辻 成紀
副委員長 古久保 恵三
委員 堀 匠

水上 久美子
楠本 隆典
廣畑 敏雄